キャリア教育全体計画

山形県立ゆきわり養護学校

学校教育目標	
「伝え合うこと」「役割を果たすこと」ができる人を育てる ・豊かに表現すること ・自己有用感を高めること ・自分のこと、友達のことを大切にすること	

キャリア教育の目標	
自分や他者、社会を知り、生き方や在り方について考え、自立と社会参加に向けて積極的に取り組む人を育成する。	

	幼稚部	小学部	中学部	高等部
キャリア教育 学部方針	○様々な活動を通して、生活経験を広げるとともにいろいろな人とかかわることができるようにする。	○様々な人とかかわったり生活経験を広げたりする中で、自分や周りの人への関心をもつことができるようにする。	○係や委員会活動などを計画的に設定する中で、友達や教師に感謝される経験を積み重ね、自分の良さに気づき自己有用感を育むことができるようにする。	○自らの在り方や生き方について考え、社会の中で役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現できるように、キャリア・パスポートを活用し、関係者と連携を図りながら、キャリア発達を支援する。
		○みんなのために活動することを通して、感謝される喜びを知り、働くことの楽しさや大切さを感じられるようにする。	○進路についての学習やキャリア・パスポートを活用して将来の生活を考えたり、本人や保護者と十分な話し合いをもち必要な情報提供を行ったりしながら計画的に進路指導を行う。	○生徒が主体的に自分の進路を選択できるように、組織的に計画的な進路指導を行う。
		○キャリア・パスポートを活用しながら、自分自身の変容や成長を感じることができるようになる。		

基礎的 汎用的能力	身につけさせたい能力・態度			
	幼稚部	小学部	中学部	高等部
人間関係形成 社会形成能力 価値観や考え方の異なる多様な他者と円滑な人間関係を育成しながら、自ら他者に働きかけ、新たなコミュニティを形成していくことができる力 ・他者を理解する力 ・他者に働きかける力 ・コミュニケーション・スキル等	・先生や友達と共に活動することの喜びや楽しさを味わう。 ・見聞きたり、感じたりしたことを伝える自分なりの方法（音声言語、文字、手話、指文字など）を知る。 ・日常のあいさつをする。	（下学年） ・集団生活の中で友達とのかかわりを深め、協力して活動しようとする。 ・身近な人に自分の思ったことや気持ちを伝える。 ・あいさつの習慣をつける。 （上学年） ・いろいろな学年の友達や集団での活動に参加し、役割と責任を果たそうとする。 ・周囲の人に、自分の気持ちや意思を伝える。 ・自分から挨拶や返事をする。	・集団の約束を知り、役割と責任を果たしながら友達と協力して活動する。 ・場面に応じて、自分の意見や要求などの意思を伝える。 ・状況に応じて、自分から挨拶や返事、感謝、謝罪の気持ちを伝える。	・社会のルールを守り、多様な他者（異年齢・異性など）とかかわる。 ・誰にでも自分の思いや意見を適切に伝え、他者の意思などを受け入れながら様々な人と協働しようとする。 ・感謝や反省の気持ちを適切に伝える。
自己理解・ 自己管理能力 自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、今後の成長のために進んで学ぼうとする力 ・自己の役割の理解 ・前向きに考える力 ・ストレスマネジメント	・身の回りの生活の中で自分ができること、したいことに気付く。 ・いろいろな遊びの中で、好きや嫌いなど自分の思いに気付く。 ・いろいろな遊びの中で、ものごとのさまじりに気付く。	（下学年） ・自分ができていること、自分のことは自分でしようとする。 ・自分の好きなもの、大切なものをもつ。 ・生活の中で、してよいこと悪いことがあることを知り、さまじりを守るなどの大切さに気付く。 （上学年） ・自分の役割に責任をもち、最後までやり通そうとする。 ・自分や友達の良いところへ気づき、認め合う。 ・しては良いこと、悪いことが分かり、自分で考えて決まりを守りながら行動する。	・自分の役割の必要性が分かり、自分の役割を意識して行動する。 ・自分の良さや個性が分かり、好きなことややりたいことを計画し実行する。 ・自分の気持ちをコントロールし、前向きに考えて取り組む。	・学校や地域、社会において自分が果たすべき役割を自覚し、積極的に役割を果たそうとする。 ・自分の適性や能力を理解し受け入れ、自分を生かせる生き方や進路を現実的に考える。 ・周囲と折合いをつけ、肯定的に物事を捉えて主体的に行動できる。
課題対応能力 仕事を上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力 ・情報の理解・選択・処理等 ・課題発見 ・実行力	・遊びを通して、関心を広げ、様々な経験を積む。 ・活動前の準備や活動後の片付けを知る。	（下学年） ・学習や活動の中で、様々な経験を積み重ねる。 ・活動の準備や片付けをする。 （上学年） ・知りたいことや興味のあることを進んで周囲に聞いたり、調べたりする。 ・みんなで話し合いながら、協力して学習や活動に取り組み、より良い方法を見つけることができる。	・情報収集の手段を知り、活用しながら質問したり、調べたりする。 ・見学や体験を通して、自分の将来を考えることの大切さに気付く、将来を考えるために情報を収集して解決しようとする。	・卒業後の生活に関する情報を探索し、実行する。 ・自分を生かした役割の中で、様々な課題を発見し、その課題解決に向けて取り組もうとする。
キャリア プランニング能力 「働くこと」の意義を理解し、自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力 ・学ぶこと、働くことへの理解 ・多様性の理解 ・将来設計	・自分の得意なことやできそうなことに取り組み、やり遂げる喜びを味わう。 ・日常生活やいろいろな遊びの中で、生活にかかわる様々な役割に興味関心をもつ。	（下学年） ・自分の役割やできそうなことに取り組む中で、やり遂げる良さや大切さがわかる。 ・身近なところで働く人の様子に気づき、興味・関心をもつ。 ・夢や希望をもつ。 （上学年） ・自分の役割に対して責任を感じ、最後までやり通そうとする。 ・身近な人々に感謝の気持ちをもち、今後の生き方について考える。 ・将来に向けて、自分に必要な力について考えることができる。	・見学や体験を通して、働くことの大切さや自分の将来を考えることの大切さに気付く。 ・夢をもち、自分にふさわしい進路への関心、意欲を高める。 ・自分の将来に目を向け、必要な支援が分かり、求めることができる。	・多様な職業観・勤労観を学び、職業・勤労に対する理解・認識を深める。 ・自分の生き方・在り方を見つめ、卒業後を見通した将来を設計し、実現に向けた計画を立てる。 ・卒業後の生活に向け、自分に必要な支援が分かり、周囲の状況を判断し、適切に支援を求める。